

はぴねす

はぴねすの手話表現

桜花学園高等学校
高校生ボランティア・アワード2024



はぴねすって？

【愛知県】

私たちは手話をもっと広め、聴覚障害の方への理解が深まってほしいという思いから「はぴねす」を作りました。「はぴねす」はどんな時でも**伝えたい**という気持ちを大切に、手話を知らない方が少しでも手話の興味を持ってもらえるようダンスと手話を掛け合わせた**手話ダンス**を行っています。また私たち常に手話への探求心を絶やさず、日々聴覚障害の方への理解を深めています。こうして私達が活動が続いていく中で「**手話はコミュニケーション方法の1つ!**」という考えが当たり前になり、今までたくさんお世話になったろう者の方々が少しでも生活しやすくなれば嬉しいです。



みんなが手話初心者!?

毎月二回ほど講師の方とろう者の方をお招きして二時間程度の手話学習を行っています。この手話学習で**初めて**手話に触れる部員がほとんどの為、基本的な挨拶などからスタートし一年間を通して手話について学んでいます。短文を読んですぐ手話で表さなくてはならないので、知らない手話単語をどう表現するかを意識出来ていると感じます。また実際にろう者の方もお招きしているので、自分の手話が伝わるものなのかもその場で教えていただける**とても良い機会**になっています。



新聞にも掲載されました!!

手話について知ってほしい!!

突然ですが、**手話ダンス**とは何か知っていますか？その名の通り**手話**と**ダンス**を掛け合わせたものです。私たちは手話ダンスを手話を知らない方に向けて行っています。もちろん聴覚障害の方にも楽しんでいただきたいのですが、特に手話について**難しいイメージ**を持っている方が手話を身近に感じてもらうよう工夫しています。手話ダンスにおいて一番大切なことは、**表情**です。手話ダンスなので踊りが重要そうですが、あくまで**メインは手話**です。ダンスよりも演劇に近いかもしれませんが、ステージ上だと緊張で顔が強ばり感情が上手く伝わらず**表情を課題**にしています。



手話経験を積んでいきたい!!

3月3日には「**聴覚障害者と県民の集い**」というイベントに参加しました。私たちは運営のお手伝いとして受付や駐車場で整備、前日には資料作成を行いました。手話を使って1日中お話しする経験はなかなか無く、不安でいっぱいでしたが聴覚障害の方や通訳の方が優しく教えてくださったおかげで楽しくコミュニケーションをとることができました。また私たち自身もステージに立ち、手話ダンスを3曲披露しました。まだまだ経験が浅い中、部員一同全力で取り組み今までで1番のステージになったと思います。それと同時に、今回のような本格的な手話イベントは初めてだったので**周りの方に頼りすぎている**と感じました。これから、手話イベントに来てほしい!とお願いいただけるよう努力していきます。

昨年度のはぴねす

- 11月18日 2023年度中部学院全国手話スピーチコンテスト
- 1月20日 手話しゅわ祭だー
- 3月3日 **耳の日記念 聴覚障害者と県民の集いin名古屋**
- 3月26~29日 パレット・パステル（聴覚障害を持つ子供たちとの交流）

こんなに沢山の大会に出場!?

- 【令和3年度】
全国高校生による手話スピーチコンテスト
・全国大会出場
- 全国手話パフォーマンス甲子園
・奨励賞
- 中部手話スピーチコンテスト
・手話スピーチ部門優秀賞
・手話朗読部門優秀賞
・中日賞



- 【令和4年度】
全国高校生による手話スピーチコンテスト
・全国大会出場



- 【令和5年度】
全国高校生による手話スピーチコンテスト
・全国大会出場
- 中部手話スピーチコンテスト
・手話スピーチ部門 知事特別賞・奨励賞
・手話パフォーマンス部門 優秀賞・会場特別賞

誰もが楽しめるステージ作り!!

私たちは、11月18日に「**2023年度 中部学院全国手話スピーチコンテスト**」で、スピーチ部門「**知事特別賞**」「**奨励賞**」、パフォーマンス部門「**優秀賞**」「**会場特別賞**」を受賞することができました。普段のボランティア活動で行っている手話歌をコンテストでも披露しようと考え、構成しました。しかし、手話を使うということは**耳が聞こえない人にも楽しんでもらえる内容**でなくてはならないということです。そこで、誰もが楽しめるステージにするためにさまざまな工夫をしました。ストーリーを作ることで歌を劇の一部として楽しめるようにしたり、音楽に合わせて**みんなで手拍子**をして会場の皆さんも一緒にリズムを取れるようにしたりしました。もちろん、全てが初めからうまくいくわけではありません。顧問の先生や、手話サークルの皆さんに見てもらっても、**初めは面白くない**と言われました。それでも、**多くの挫折と失敗を経験したからこそ誰もが楽しめるステージを作る!**という思いがより強くなりました。そのため、コンテストのステージの上で**皆さんの笑顔**が見れた時は本当に嬉しかったです。



手話って面白い!!

手話は**やっぱり難しい**です。それでも私たちが手話学習をし続ける理由は**手話が面白い**からです。手話の面白さは知らない単語だったとしても当てられるくらい、見てすぐ分かりやすくなっているところです。聞こえる私たちが見ても納得できる動きが多く、新しい手話を知るたびに「**こう表すんだ!**」という発見があり、ワクワクした気持ちで勉強ができています。また、手話活動をしていると「**手話の勉強頑張っ**てね」や「**手話の勉強をしてくれて嬉しい**」といった言葉をいただけることが多く、勉強の励みになっています。

ぶち当たった壁

私たちはほとんどが**手話初心者**なこともあり、手話を学習していく中でたくさんの壁にぶち当たりました。その中でも私たちの**ターニングポイント**となったのは、**表情の硬さ**です。手話が上手な子と私たちの大きな違いは手話を作業として行っているか、コミュニケーション方法として行っているかです。私たちの手話の先には大切な「**相手**」が居なかったのです。そこから私たちはしっかりと「**相手**」に伝えるため、より手話学習に力を入れていきました。でもどうしても**一方通行の手話になってしまう**…そう悩んだとき、ある大切なことを思い出しました。それは**伝えたい**という気持ちです。一見とても初歩的なことのように思えますが、私たちは手話を一生懸命学習していくにつれて**伝えたい**という気持ちよりも不安や焦りが強くなっていったのかもしれませんが、もちろん手話の技術はこれからも身につけていきたいですが、それと同時に**伝えたいという気持ちも忘れずに、どんどん増やしていきます!!**

